平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 39

事務事業名	消防防災施設整備事業
ナルナルロ	111010101000000000000000000000000000000

基本目標		安全・安心なまち
政 策	030201	消防・救急体制の充実
施策		消防・救急体制の充実
関連施策		

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個 別 計 画		
重点事業		

		INO.	
作成日	平成 28 年	9 月	30 目
部局名	市長公室		
課名	安全対策課		
課長名	田中 勝保	内線	216
担当者名	吉岡 真実	内線	217

会計	一般会計	
款	9	消防費
項	1	消防費
目	3	常備消防費
事業コード	030000	

【PLAN(計画)】

対 象 (者) 誰(何)に対して事業を 行うか	消防施設及び防火水槽						
意 図 対象をどのような状態 にしたいか	肖防施設・消防水利の環境を整えることによって、迅速かつ効果的な消火・防災活動が行える。						
事 業 概 要 意図を達成するために 実施することは何か	消防団詰所・分駐所の建替え、防火水槽等消防水利の設置を行う。 【平成28年度計画】 ・12分団松原本町分駐所の建替え ・15分団管轄内(黒木地区)防火水槽の設置(1基)						
事業期間	年度 ~ 平成 年度 実施方法						
根拠法令、要綱等	消防組織法						
国・県補助事業に 係る本市単独施策	無						

【DO(実施)】

排	上		等)	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
		防火水槽総数		箇所	279	279	279	279	
	1	りプンスパー官 本心 女X	実績値	回り	234	234	236		
活動指標			達成度	%	83.9%	83.9%	84.6%		
指		消防団詰所総数	計画値	箇所	28	28	28	28	
標	2	1日約121年1月146数	実績値		28	28	28		
	0		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
		防火水槽設置を行った数	計画値	箇所	1	1	1	1	
	1	例外が信以直を11つに数	実績値	回り	1	0	1		
成果指標			達成度	%	100.0%	0.0%	100.0%		
指		消防団詰所改修を行った数	計画値	箇所	1	1	1	1	
磦	2	1月内1月111月以底で11.万亿数	実績値	回刀	1	1	1		
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全(体 計	画
①事業費(千円)	21,409	18,778	19,868	26,216	31,033	26,216	26,216			0
国庫支出金										
県 支 出 金										
地 方 債	15,800	14,000	14,400	21,100	26,200	21,100	21,100			
そ の 他										
一 般 財 源	5,609	4,778	5,468	5,116	4,833	5,116	5,116			
②人件費(千円)	1,192	1,134	1,243	1,306	事業内容	事業内容	事業内容	1	備考	
職員人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	防火水槽(1	防火水槽(1	防火水槽(l 基) 1分団			
時間外勤務(時間)				15	基) 4分団	基) 15分	東浦器材格納			
嘱 託 等 人 数(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	大多武詰所	団田下詰所	庫・4分団赤			
フルコスト(①+②千円)	22,601	19,912	21,111	27,522	建督	建替	佐古器材格納 庫建萃			

[※]財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

昨年月をしま	業の進捗状況 年度の評価から、どのような取組 分駐所の建替えを行った。 よましたか(昨年度の[ACTION] 改善・改革の進捗等) 消防施設整備計画に基づき詰所・分駐所を年1箇所建替えを行なっており、平成27年度は14分団陰平 分駐所の建替えを行った。 また、消火栓等消防水利が乏しい山間部の水利の確保が課題なので、平成28年度は黒木地区に防火 水槽を1基設置を行う。								
事業	が抱える問題・課題等	防火水槽を設せて要望に応	と置にあたり、土 ぶえるのが難しい	土地の確保、補	水のための糸	合水手段の確保	等の課題があり、費用の面と併		
	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし			
妥当									
性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし			
				ı					
	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし			
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	 低い	該当なし			
性	【心不真的友】	[F] V ·	. /_ /_ [H] A .	- 1. IFV A .	F7'A .	以コなり			
	【コスト】	削減の	余地なし	削減の急	<u></u> 余地あり	該当なし			
効率							、必要不可欠な経費である。		
性	【負担割合】	見直しの	余地なし	見直しの	余地あり	該当なし			
_	※事業類型が1~3に該当	-			記入しております	せん。			
[AC	TION(改善·改革】	今後の方向	1性 現状	維持					
取組る	容 後の方向性のもとで、どのような 組をするか(課題や問題点等に する取組など)								

4	今後の方向性	担当者意見のとおり	0	文	対象外	今後の方向性	
/p	終期設定		次	終	期設定		
公評 価	意 見 等		(評価	内容			

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。

効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か